#### 様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道10号 古国府拡幅
事業主体	九州地方整備局

#### ●事業採択の前提条件を確認するための指標

指標		指標	指標チェックの根拠	
前提条件	是条件 事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている		費用便益比 (B/C) = 1. 6 (経済的純現在価値(B-C)= 57億円、経済的内部収益率(EIRR)=6.08%	

#### ●事業の効果や必要性を評価するための指標

政	策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリ ティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間 b (並行区間) について 並行区間等の渋滞損失時間:2.6万人時間/年(国道10号、市道) 並行区間等の渋滞損失削減率:約1.5割削減(国道10号、市道)
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	・大分バス (元町・富岡・滝尾循環、大道経由古国府循環)
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	□ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
	都市の再生	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1. 活力		□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	

		■ 中心市街地内で行う事業である	古国府拡幅は、「JR日豊本線等大分駅付近連続立体交差事業」と併せて一般国道10号の拡幅を行い、顕徳三丁目交差点付近の交通混雑の緩和、沿道環境の改善、交通事故の防止、交通安全の向上を図る事業である。
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		■ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	ロ 高速自動車国道と並行する自専道 (A'路線) としての位置づけ有り	
		ロ 地域高規格道路の位置づけあり	
		□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		□ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
		歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
	個性ある地域の 形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	JR日豊本線等大分駅付近連続立体交差事業
		□ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
		□ 特別立法に基づく事業である	
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	歩行者・自転車の ための生活空間 の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当す □ る区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ 交通パリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化される	
	無電柱化による 美しい町並みの 形成	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに 無電柱化を達成する	
	安全で安心でき るくらしの確保	□ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	
3. 安全	安全な生活環境 の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線 形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通  □ 量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	

1	災害への備え		
	火音への哺ん	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけ 口がある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	
		□ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する (A'路線としての位置づけがある場合)	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	C02排出削減量:742.0t/年
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別:対象地域外 (推計結果) 詳価対象区間(現道/並行区間等):国道10号、市道 排出削減率:4.4%削減
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(現況) 自動車NO×・PM法対策地域指定の別:対象地域外 (推計結果) 評価対象区間(現道/並行区間等):国道10号、市道 排出削減率:4.2%削減
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	JR日豊本線等大分駅付近連続立体交差事業
		□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	
	II.		

# 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道10号	古国府拡幅	L=0.6km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
34, 100~35, 100	4	九州地方整備局

## ① 費 用

⊕ R /II					
	改築費	維持修繕費	合 計		
基 準 年		平成19年度			
単純合計	83億円	6. 1億円	90億円		
うち残事業分	11億円	6.1億円	17億円		
基準年における 現在価値 (C)	91億円	2. 5億円	93億円		
うち残事業分	9. 7億円	2. 5億円	12億円		

## ② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計	
基 準 年	平成19年度				
供 用 年	平成25年度				
単年便益 (初年便益)	7.8億円	0.92億円	0. 24億円	9. 0億円	
基準年における 現在価値(B)	131億円	15億円	3.9億円	151億円	
うち残事業分	131億円	15億円	3.9億円	151億円	

## ③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1. 6
費用便益比(残事業)	12. 4

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## ④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	34, 100~35, 100	±10%	11. 2~13. 8
事業費	11億円	±10%	11.5~13.5
事業期間	5 年間	±20%	12.0~12.8

## 交通状況の変化

事業名:古国府拡幅(事業全体・残事業)

(推計時点 H11年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・	交通量		[台/日]	17, 800	27, 500
[古国/	以来追留 守拡幅] 6km	走行時間	[分]	1	1
. 0.	UKIII	走行時間費用	[億円/年]	3. 7	5. 5
	現道(国 道210 号) : 1.3km	交通量	[台/日]	54, 900	54, 000
		走行時間	[分]	2	2
②主な周		走行時間費用	[億円/年]	32. 5	32. 1
辺道路	(市)萩原 田原線 : 4.1km	交通量	[台/日]	35, 600	33, 200
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	75. 0	69. 5
	道路合計 7.5km	走行時間費用	[億円/年]	7195. 0	7192. 3

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 4493.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7306. 2	7299. 4	6. 8

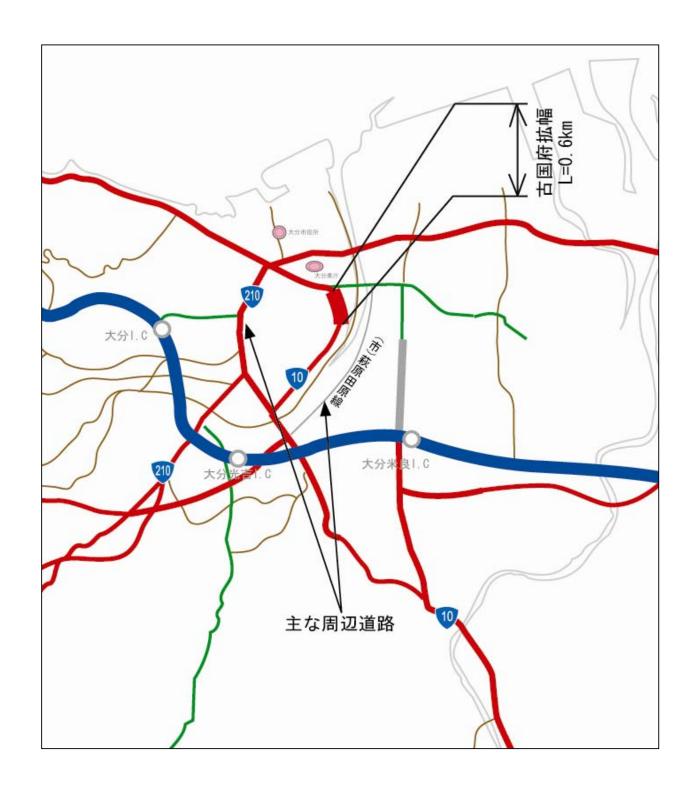
※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1: 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。



# 費用便益分析の条件

事業名: 古国府拡幅

(2

			項目	チェツ	ク欄
		費用便益分析	<b>斤マニュアル</b>		
	算出マニュアル	(平成15年8	月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局	_	
		その他			
		分析対象期間	<b>5</b>	40年	-間
5	↑析の基本的事項	社会的割引率	<u> </u>	4%	
		基準年次		平成1	9年
	交通流の	1時点のみ推		<b>■</b> (H:	11)
	推計時点	複数時点での	D推計		
	推計の状況	整備の有無る			
	推計の状況	整備の有無の		□有	□無
			・ サスをベースとした自動車OD表		
	10-15	(三段階推定		(H11セ)	ンサス)
	推計に用いた				
	OD表	(四段階推定			
		その他(			
交		無			
通	開発交通量の 考慮	有			
流		- Н	考慮した開発交通量(トリップ数)		リップ~日
推		   有の場合のみ	考慮した理由を記載	\ / П	<i>/// H</i>
計		12.00			
		QーV式を用	いた配分		
		転換率式を用	引いた配分		,
		Q-V式と転	換率式の併用による配分		
	피사숙동티스	均衡配分(リ)	ンクパフォーマンス関数を用いた配分)		
	配分交通量の 推計手法	簡易手法			
	胜可于丛		小規模事業である		
		簡易手法の 場合	山間部海岸部で併行道路が少ない		
		791 🗆	その他( )		
		その他(			
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_	
		して設定	-		
		採用理由を記載	、交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通	函容量(Qmin∼	Qmax)の
			路線、等が混在した配分結果となっているため、費用値 度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	<b>種算出におい</b>	ては、速
	速度設定の		及足の工する・加工「构座及」と川いた。		
	考え方	最終配分の過	東度		
		採用理由を記載			
		その他(	)		
			,		

i .			+= D	1	LIBB
<u> </u>		T	項目		チェック欄
		考慮しない			
		考慮する			
	// n + vz o		面的に考慮		
	休日交通の		対象路線のみ考慮		
	影響	考慮する 場合のみ	採用した休日係数		( ) %
		場合のみ	休日係数を考慮した理由および採用した	休日係数の考え方を	
	 交通流推計の	亚式15年9	⊥ 月12日付け事務連絡に基づく設定	,	
	安通流推計の時点以外の		月12日刊17事務建裕に基プ、設定	-	
	便益の算定	その他	,		
Æ	人並び昇ん	世 田 伍 光 ハ・	<u> </u>		_
便	± 14 Dun+ 88		折マニュアルの値を使用 カスカス		
益	車種別時間 価値原単位	独自に設定し 算出根拠を添			Ц
の	川恒水中江	弁山似灰でか	119 9 200		
算				1	
定		費用便益分	析マニュアルの値を使用		
	車種別走行	独自に設定し			
	経費原単位	算出根拠を添	付すること		
	交通事故減少	中央分離帯の	の有無を考慮		
	便益算定	中央分離帯の			
		考慮しない	- 1000 C		
	時間短縮·費用減	考慮する			П
	少·事故減少以外		, 算出根拠を添付すること)	I	<del>_</del>
	の便益				
	 その他	l			
		=¥ 4m <del>=</del> +₩ = 1 ;	五 1 7. 1 1 1 1 1 1.		
	古光串		画による値を採用 ************************************		
	事業費	標準投資パタ	ターンを採用		
費		その他(		)	
用			析マニュアルの値を使用		
の	維持管理費		実績値より設定		
算		その他(		)	
定	雪寒費	積雪地域まれ	とは寒冷地域である		
	その他				
4.	その他				
	<b>4</b> · · · · ·				
ı					
·····					

び E (km) 単純価値(倍円

### 費用の現在価値算定表【全事業】

筒所名:一般国道10号 古国府拡幅

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

単価(倍田)

箇所名:一般国道10号	古国府:	拡幅		単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
				0.27	0.6	0.16
		割戻率	事業費	(億円)	維持修繕	費(億円)
年次	年度		単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-15年目	H 10	1.4233	0.90	1.3	1 101111	
<u> </u>	H 11	1.3686	0.16	0.22		
-13年目	H 12	1.3159	2.8	3.7		
	H 13	1.2653	19			
				24		
<u> </u>	H 14	1.2167	14	17		
<u>-10年目</u>	H 15	1.1699	18	21		
<u>-9年目</u>	H 16	1.1249	5.4	6.1		
一8年目	H 17	1.0816	2.7	3.0		
一7年目	H 18	1.0400	5.0	5.2		
一6年目	H 19	1.0000	5.0	5.0		
-5年目	H 20	0.9615	2.3	2.2		
一4年目	H 21	0.9246	2.3	2.1		
一3年目	H 22	0.8890	2.3	2.0		
-2年目	H 23	0.8548	2.3	2.0		
<u> </u>	H 24	0.8219	2.3	1.9		
完成供用開始年次	H 25	0.7903	2.0	1.0	0.15	0.12
1年目	H 26	0.7599			0.15	0.12
2年目	H 27	0.7399			0.15	
						0.11
3年目	H 28	0.7026			0.15	0.11
4年目	H 29	0.6756			0.15	0.10
5年目	H 30	0.6496			0.15	0.10
6年目	H 31	0.6246			0.15	0.10
7年目	H 32	0.6006			0.15	0.09
8年目	H 33	0.5775			0.15	0.09
9年目	H 34	0.5553			0.15	0.08
10年目	H 35	0.5339			0.15	0.08
11年目	H 36	0.5134			0.15	0.08
12年目	H 37	0.4936			0.15	0.08
13年目	H 38	0.4746			0.15	0.07
14年目	H 39	0.4564			0.15	0.07
15年目	H 40	0.4388			0.15	0.07
16年目	H 41	0.4220			0.15	0.06
17年目	H 42	0.4057			0.15	0.06
18年目	H 43	0.4037			0.15	
19年目						0.06
	H 44	0.3751			0.15	0.06
20年目	H 45	0.3607			0.15	0.05
21年目	H 46	0.3468			0.15	0.05
22年目	H 47	0.3335			0.15	
23年目	H 48	0.3207			0.15	0.05
24年目	H 49	0.3083			0.15	0.05
25年目	H 50	0.2965			0.15	0.05
26年目	H 51	0.2851			0.15	0.04
27年目	H 52	0.2741			0.15	0.04
28年目	H 53	0.2636			0.15	0.04
29年目	H 54	0.2534			0.15	0.04
30年目	H 55	0.2437			0.15	0.04
31年目	H 56	0.2343			0.15	0.04
32年目	H 57	0.2253			0.15	0.03
33年目	H 58	0.2255			0.15	0.03
34年目		0.2083			0.15	
						0.03
35年目	H 60	0.2003			0.15	0.03
36年目	H 61	0.1926			0.15	0.03
37年目	H 62	0.1852			0.15	0.03
38年目	H 63	0.1780			0.15	0.03
39年目	H 64	0.1712	-29	-5.0	0.15	0.03
合 計			54	91	6.1	2.5
当			83		6.1	
単純事業費計			63		6.1	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

### 費用の現在価値算定表【残事業】

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道10号 古国府拡幅

 採用単価の根拠
 一般国道(直轄)

 単価(億円)
 延長(km)
 単純価値(億円)

 0.27
 0.6
 0.16

				0.27	0.6	
		割戻率	事業費		維持修繕	
年次	年度		単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-15年目	H 10	1.4233				
-14年目	H 11	1.3686				
-13年目	H 12	1.3159				
-12年目	H 13	1.2653				
-11年目	H 14	1.2167				
-10年目	H 15	1.1699				
	H 16	1.1249				
	H 17	1.0816				
	H 18	1.0400				
	H 19					
	H 20	1.0000 0.9615	2.3	2.2		
	H 21	0.9246	2.3			
	-	0.8890		2.1		
			2.3	2.0		
<u> </u>	H 23	0.8548	2.3	2.0		
一1年目	H 24	0.8219	2.3	1.9	2.1-	212
完成供用開始年次	H 25	0.7903			0.15	0.12
1年目	H 26	0.7599			0.15	0.12
2年目	H 27	0.7307			0.15	0.11
3年目	H 28	0.7026			0.15	0.11
4年目	H 29	0.6756			0.15	0.10
5年目	H 30	0.6496			0.15	0.10
6年目	H 31	0.6246			0.15	0.10
7年目	H 32	0.6006			0.15	0.09
8年目	H 33	0.5775			0.15	0.09
9年目	H 34	0.5553			0.15	0.08
10年目	H 35	0.5339			0.15	0.08
11年目	H 36	0.5134			0.15	0.08
12年目	H 37	0.4936			0.15	0.08
13年目	H 38	0.4746			0.15	0.07
14年目	H 39	0.4564			0.15	0.07
15年目	H 40	0.4388			0.15	0.07
16年目	H 41	0.4220			0.15	0.06
17年目	H 42	0.4057			0.15	0.06
18年目	H 43	0.3901			0.15	0.06
19年目	H 44	0.3751			0.15	0.06
20年目	H 45	0.3607			0.15	0.05
21年目	H 46	0.3468			0.15	0.05
22年目	H 47	0.3335			0.15	0.05
23年目	H 48	0.3207			0.15	0.05
24年目	H 49				0.15	0.05
25年目	H 50	0.2965			0.15	0.05
26年目	H 51	0.2851			0.15	0.04
27年目	H 52	0.2741			0.15	0.04
28年目	H 53	0.2636			0.15	0.04
29年目	H 54	0.2534			0.15	0.04
30年目	H 55	0.2437			0.15	0.04
31年目	H 56	0.2343			0.15	0.04
32年目	H 57	0.2253			0.15	0.04
33年目	H 58	0.2166			0.15	0.03
34年目	H 59	0.2083			0.15	0.03
35年目	H 60					
	•	0.2003			0.15 0.15	0.03
36年目 37年目	H 61	0.1926				0.03
38年目	H 63	0.1852 0.1780			0.15 0.15	0.03
			0.0	0.40		0.03
39年目	H 64	0.1712	-2.8	-0.48	0.15	0.03
合 計			8.6	9.7	6.1	2.5
単純事業費計			11		6.1	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

### 便益の現在価値算定表【全事業】

箇所名:一般国道10号 古国府拡幅

			12771												合	計				
	年度	総走行台	計□の年次別伸び率	割引率			走行時間短縮便益(億円)			走行経費減少便益(億円)						事故減少便	益(億円)		(億円)	
	(基準年)	(;	北九州プロック)							現在価値						現在価値		現在価値	便益合計	現在価値
年次	19	714712 1 705	貨物車類 全車	(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	① 計	①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	② 計	(A) × (2)	3	$\mathfrak{J} \times (A)$	(1)~(3)	割戻率4%
完成供用年次		1. 00769	0. 99865 1. 00510	0.7903	5.8	0.61	0.97	0.42	7.8		0.60	0.02	0.20		0.92	0.73	0.24	0.19		
	H 26	1. 00763	0. 99865 1. 00507	0.7599	5.9	0.62	0.97	0.42	7.9		0.61	0.02	0.20		0.93		0.24	0.18		
	H 27	1. 00757	0. 99865 1. 00504	0.7307	5.9	0.62	0.97	0.42	7.9		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93			0.18		
	H 28	1. 00751 1. 00746	0. 99865	0.7026 0.6756	6.0 6.0	0.62 0.62	0.97 0.97	0.42 0.42	8.0 8.0		0.61 0.61	0.02 0.02	0.20	0.10 0.10	0.93 0.93	0.65 0.63	0.24 0.24	0.17 0.16	9.2	
	H 30	1. 00740	0. 99864 1. 00499	0.6736	6.1	0.62	0.97	0.42	8.1		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93			0.16		
	H 31	1. 00740	0. 99864 1. 00494	0.6246	6.1	0.62	0.97	0.42	8.1		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93		0.24	0.10	9.3	
	H 32	1. 00733	0. 99864 1. 00492	0.6006	6.1	0.62	0.97	0.42	8.1		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.56		0.13	9.3	
	H 33	1. 00157	0. 99595 1. 00004	0.5775	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2		0.61	0.02	0.20		0.93		0.24	0.14		
	H 34	1. 00157	0. 99594 1. 00004	0.5553	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.52		0.13	9.4	
	H 35	1. 00156	0. 99592 1. 00004	0.5339	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2	4.4	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93		0.24	0.13	9.4	
11年目	H 36	1. 00156	0. 99590 1. 00004	0.5134	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2	4.2	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.48	0.24	0.12	9.4	
12年目	H 37	1. 00156	0. 99589 1. 00004	0.4936	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2	4.1	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.46	0.24	0.12	9.4	4.6
13年目	H 38	1.00156	0. 99587 1. 00004	0.4746	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2	3.9	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.44	0.24	0.11	9.4	4.5
14年目	H 39	1. 00156	0. 99585 1. 00004	0.4564	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2	3.8	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.42	0.24	0.11	9.4	4.3
	H 40	1. 00155	0. 99584 1. 00004	0.4388	6.2	0.62	0.97	0.42	8.3		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.41	0.24	0.11	9.4	
	H 41	1. 00155	0. 99582 1. 00004	0.4220	6.3	0.62	0.97	0.42	8.3		0.61	0.02	0.20		0.93			0.10		
	H 42	1. 00155	0. 99580 1. 00004	0.4057	6.3	0.62	0.97	0.42	8.3		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93			0.10		
		0. 99690	0. 99472 0. 99633	0.3901	6.3	0.62	0.97	0.42	8.3		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.36		0.09		
		0. 99689	0. 99469 0. 99632	0.3751	6.3	0.62	0.96	0.42	8.3		0.61	0.02	0.20		0.93			0.09		
		0. 99688	0. 99467 0. 99630	0.3607	6.2	0.62	0.95	0.42	8.2		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93			0.09		
		0. 99687	0. 99464 0. 99629	0.3468	6.2	0.62	0.94	0.42	8.2		0.61	0.02	0.20		0.93		0.24	0.08		
		0. 99686	0. 99461 0. 99628	0.3335	6.2	0.62	0.93	0.42	8.2		0.61	0.02	0.20		0.93		0.24	0.08		
		0. 99685	0. 99458 0. 99626	0.3207	6.2 6.2	0.62 0.62	0.92 0.92	0.42 0.42	8.1		0.61 0.61	0.02	0.20	0.10	0.93 0.93		0.24	0.08	9.3	
- · · H		0. 99684	0. 99455 0. 99625 0. 99452 0. 99623	0.3083	6.1	0.62	0.92	0.42	8.1 8.1		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.29 0.28	0.24 0.24	0.07	9.3	
		0. 99682	0. 99449 0. 99622	0.2851	6.1	0.62	0.91	0.42	8.1		0.61	0.02	0.20		0.93		0.24	0.07		
		0. 99681	0. 99446 0. 99621	0.2831	6.1	0.62	0.91	0.42	8.0		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93			0.07	9.2	
		0. 99634	0. 99695 0. 99650	0.2636	6.1	0.62	0.90	0.42	8.0		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93		0.24	0.07	9.2	
		0. 99632	0. 99695 0. 99648	0.2534	6.1	0.62	0.90	0.42	8.0		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.24		0.06		
		0. 99631	0. 99694 0. 99647	0.2437	6.0	0.62	0.90	0.42	8.0		0.61	0.02	0.20		0.93		0.24	0.06		
		0. 99630	0. 99693 0. 99646	0.2343	6.0	0.62	0.90	0.42	8.0		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93		0.24	0.06		
		0. 99628	0. 99692 0. 99645	0.2253	6.0	0.62	0.90	0.42	7.9	1.8	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93		0.24	0.05		
33年目	H 58	0. 99627	0. 99691 0. 99643	0.2166	6.0	0.62	0.90	0.42	7.9	1.7	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.20	0.24	0.05	9.1	2.0
34年目	H 59	0. 99625	0. 99690 0. 99642	0.2083	6.0	0.62	0.90	0.42	7.9	1.6	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.19	0.24	0.05	9.1	1.9
35年目	H 60	0. 99624	0. 99689 0. 99641	0.2003	5.9	0.62	0.90	0.42	7.9	1.6	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.19	0.24	0.05	9.0	1.8
36年目	H 61	0. 99623	0. 99688 0. 99639	0.1926	5.9	0.62	0.90	0.42	7.9	1.5	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.18	0.24	0.05	9.0	1.7
37年目	H 62	0. 99621	0. 99687 0. 99638	0.1852	5.9	0.62	0.90	0.42	7.8	1.5	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.17	0.24	0.04	9.0	1.7
38年目	H 63	0. 99615	0. 99711 0. 99640	0.1780	5.9	0.62	0.90	0.42	7.8	1.4	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.17	0.24	0.04	9.0	1.6
39年目	H 64	0. 99609	0. 99735 0. 99641	0.1712	5.9	0.62	0.90	0.42	7.8	1.3	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.16	0.24	0.04	9.0	
合 計(H25~I	H64)				243	25	38	17	323	131	24	0.80	8.0	4.0	37	15	9.6	3.9	369	151

### 便益の現在価値算定表【残事業】

箇所名:一般国道10号 古国府拡幅

	ľ																		合	計												
	年度	総走行台キロの年次別伸び率										キロの年次別伸び率						走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)			(億円)
	(基準年)		比九州ブロック								現在価値						現在価値	_	現在価値	便益合計	現在価値											
年次	19	F147 14 1 705	貨物車類		(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	① 計	①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	② 計	(A) × (2)	(3)	③×(A)	(1)~(3)	割戻率4%											
70//07///	H 25	1. 00769 1. 00763	0. 99865	1. 00510 1. 00507	0.7903 0.7599	5.8 5.9	0.61 0.62	0.97 0.97	0.42 0.42	7.8 7.9	6.2 6.0	0.60 0.61	0.02 0.02	0.20 0.20	0.10 0.10	0.92 0.93	0.73 0.71	0.24 0.24	0.19 0.18	9.0												
	H 27	1. 00763	0. 99865 0. 99865	1. 00507	0.7399	5.9	0.62	0.97	0.42	7.9		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.71	0.24	0.18		_											
	п 27 Н 28	1. 00757	0. 99865	1. 00504	0.7026	6.0	0.62	0.97	0.42	8.0	5.6	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.65	0.24	0.10	9.1												
	H 29	1. 00731	0. 99864	1. 00302	0.7020	6.0	0.62	0.97	0.42	8.0	5.4	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.63	0.24	0.17													
	H 30	1. 00740	0. 99864	1. 00497	0.6496	6.1	0.62	0.97	0.42	8.1	5.2	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.60	0.24	0.16													
	H 31	1. 00735	0. 99864	1. 00494	0.6246	6.1	0.62	0.97	0.42	8.1		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.58	0.24	0.15	9.3												
7年目	H 32	1. 00729	0. 99864	1.00492	0.6006	6.1	0.62	0.97	0.42	8.1	4.9	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.56	0.24	0.14	9.3												
	H 33	1. 00157	0. 99595	1. 00004	0.5775	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2	4.7	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.54	0.24	0.14	9.4												
9年目	H 34	1. 00157	0. 99594	1.00004	0.5553	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2	4.6	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.52	0.24	0.13	9.4												
10年目	H 35	1.00156	0. 99592	1.00004	0.5339	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2	4.4	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.50	0.24	0.13	9.4	5.0											
11年目	H 36	1. 00156	0. 99590	1.00004	0.5134	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2	4.2	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.48	0.24	0.12	9.4	4.8											
	H 37	1.00156	0. 99589	1.00004	0.4936	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2	4.1	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.46	0.24	0.12	9.4	4.6											
1	H 38	1.00156	0. 99587	1.00004	0.4746	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.44	0.24	0.11													
	H 39	1.00156	0. 99585	1.00004	0.4564	6.2	0.62	0.97	0.42	8.2	3.8	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.42	0.24	0.11	9.4												
1	H 40	1. 00155	0. 99584	1.00004	0.4388	6.2	0.62	0.97	0.42	8.3	3.6	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.41	0.24	0.11													
	H 41	1. 00155	0. 99582	1.00004	0.4220	6.3	0.62	0.97	0.42	8.3		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.39	0.24	0.10													
1	H 42	1. 00155	0. 99580	1.00004	0.4057	6.3	0.62	0.97	0.42	8.3	3.4	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.38	0.24	0.10	9.4												
	H 43	0. 99690	0. 99472	0. 99633	0.3901	6.3	0.62	0.97	0.42	8.3	3.2	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.36	0.24	0.09	9.5												
· ·		0. 99689	0. 99469	0. 99632	0.3751	6.3	0.62	0.96	0.42	8.3	3.1	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.35	0.24	0.09	9.4												
-	H 45	0. 99688	0. 99467	0. 99630	0.3607	6.2	0.62	0.95	0.42	8.2	3.0	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.34	0.24	0.09	9.4												
21年目	H 46	0. 99687	0. 99464	0. 99629	0.3468	6.2	0.62	0.94	0.42	8.2		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.32	0.24	0.08													
	H 47	0. 99686	0. 99461	0. 99628	0.3335	6.2	0.62	0.93	0.42	8.2		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.31	0.24	0.08													
	H 48	0. 99685	0. 99458	0. 99626	0.3207	6.2	0.62	0.92	0.42	8.1		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.30	0.24	0.08	9.3												
]	H 49	0. 99684	0. 99455	0. 99625	0.3083	6.2	0.62	0.92	0.42	8.1		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.29	0.24	0.07	9.3												
-	H 50	0. 99683	0. 99452	0. 99623	0.2965	6.1	0.62	0.91	0.42 0.42	8.1	2.4	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.28	0.24	0.07	9.3												
-	H 51	0. 99682	0. 99449 0. 99446	0. 99622 0. 99621	0.2851 0.2741	6.1	0.62 0.62	0.91	0.42	8.1 8.0		0.61 0.61	0.02 0.02	0.20	0.10 0.10	0.93	0.27 0.25	0.24 0.24	0.07 0.07	9.2												
		0. 99681 0. 99634	0. 99446	0. 99621	0.2741	6.1	0.62	0.90	0.42	8.0	2.2	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.25	0.24	0.07	9.2												
29年目	п 53 Н 54	0. 99634	0. 99695	0. 99630	0.2534	6.1	0.62	0.90	0.42	8.0	2.1	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.23	0.24	0.06	9.2												
	H 55	0. 99631	0. 99694	0. 99647	0.2334	6.0	0.62	0.90	0.42	8.0		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.24	0.24	0.06													
	H 56	0. 99630	0. 99693	0. 99646	0.2343	6.0	0.62	0.90	0.42	8.0		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.23	0.24	0.06													
32年目	H 57	0. 99628	0. 99692	0. 99645	0.2343	6.0	0.62	0.90	0.42	7.9		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.22	0.24	0.00													
	H 58	0. 99627	0. 99691	0. 99643	0.2166	6.0	0.62	0.90	0.42	7.9		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.20	0.24	0.05		_											
	H 59	0. 99625	0. 99690	0. 99642	0.2083	6.0	0.62	0.90	0.42	7.9		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.19	0.24	0.05													
	H 60	0. 99624	0. 99689	0. 99641	0.2003	5.9	0.62	0.90	0.42	7.9	1.6	0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.19		0.05													
	H 61	0. 99623	0. 99688	0. 99639	0.1926	5.9	0.62	0.90	0.42	7.9		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.18	0.24	0.05	9.0												
		0. 99621	0. 99687	0. 99638	0.1852	5.9	0.62	0.90	0.42	7.8		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.17	0.24	0.04	9.0												
1	H 63	0. 99615	0. 99711	0. 99640	0.1780	5.9	0.62	0.90	0.42	7.8		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.17	0.24	0.04	9.0												
			0. 99735	0. 99641	0.1712	5.9	0.62	0.90	0.42	7.8		0.61	0.02	0.20	0.10	0.93	0.16		0.04	9.0												
合 計(H25~I						243	25	38	17	323	131	24		8.0		37	15		3.9	369												